

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会



本会マスコットキャラクター

「ユ-カリ-ナ」

1 第4次地域福祉活動計画(第4次計画)の推進

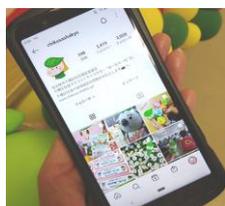
新型コロナウイルス感染症の影響により、「第4次計画」(計画期間:令和元年度から5年度)の各推進チーム等の会議は予定どおりの開催ができず、また、事業も中止・延期を余儀なくされました。

しかしながら、推進委員のみなさまをはじめ、地域関係団体やボランティアのみなさまの協力のもと、コロナ禍を見据えた取り組み方法などの検討を重ねながら、一定の事業の推進と次年度の取り組みに向けた準備をすることができました。

【主な取組】

■「Instagram」での情報発信

学生や地域関係者などの声を聴きながら、週2回程、さまざまな福祉情報等の発信に努め、フォロワー数は今年度末で 3,400を超えました。フォロワーの化粧品販売店とサロンが連携し、高齢者の積極的な外出を促す企画の実施や「はつらつ長寿推進事業」利用者(P5参照)が作製した約750個のシラスリボン(コロナ感染症の患者やその家族、医療従事者などへの差別・偏見を防止するシンボル)を医療関係者等へ届けるなど、Instagramを介した地域住民の交流活動に努めました。



ユーカリナが活躍するInstagram



シラスリボン

■「福祉情報協力店」の設置

身近な場所で“福祉情報”が入手できるよう、本会広報誌をはじめパンフレットなどの配架をお願いする「福祉情報協力店」は、昨年度から10か所増え、30か所となりました。



区内スーパーの情報配置店

■「地域デビュー冊子」の作成

区民のみなさまの地域活動、ボランティア活動の参加促進を目指す「地域デビュー講座」で使用する冊子を、各種ボランティア団体と一緒に作成しました。

また、次年度からの講座開催に向け、ボランティアのみなさまと、講座の進め方などを検討し、準備を進めました。



三浦雄一郎氏(登山家)応援メッセージ入り「デビュー冊子」

■「ユーカリナーのつながりカルタ」の作成

区民のみなさまから募った“人や地域とつながることの大切さ”を詠んだ川柳に、愛知淑徳大学の学生のみなさまに描いていただいたイラストを加え、カルタを作りました。

併せて、次年度からのカルタを用いたイベント開催に向け、準備を進めました。



つながりカルタ

■多世代交流サロン「淑徳カフェ」の開設

世代を超えた住民同士の交流の場となる「淑徳カフェ」を、愛知淑徳大学で12月に試行的に開催しました。試行実施では、「コーヒーボランティアあじさい」に淹れていただいたコーヒーを飲みながら、学生25名、住民のみなさま20名に参加いただきました。

次年度からの本会開催(原則、月1回開催)に向け、地元の民生委員のみなさまや学生サークルと協議し、準備を進めました。



淑徳サロンを楽しむ参加者



コーヒーを淹れていただく「あじさい」のみなさん

2 「地域福祉活動」の推進

- (1)「地域福祉推進協議会」(推進協)の取り組みに対し、学区担当職員(コミュニティーワーカー)を従前どおり配置し、事業の進め方の相談、プログラムの講師調整を行うなどの支援を行いました。ただし、推進協関係者を対象とした研修会は、コロナ禍で中止となりました。
- (2)「ふれあい給食サービス事業」は、コロナ禍で“会食”での実施は、原則として中止を余儀なくされ、一部の学区は“配食”に切り替え、実施しました。ただし、給食事業関係者を対象とした研修会は、コロナ禍で中止となりました。
- (3)「地域支えあい事業」《市受託事業》は、新たな実施学区を目指し、いくつかの地域福祉推進協議会関係者へ積極的な説明に努めた結果、1月から新たに内山学区で取り組みが始まりました。

また、従前から実施の4学区(千代田橋・自由ヶ丘・富士見台・春岡)については、活動連絡会議を開催し、新たな担い手確保と一層の事業啓発に向けた方策等を協議し、各種広報グッズとコロナ禍における他学区等の取り組み事例を掲載した冊子を作成し、ボランティアへ配付しました。



内山学区の支えあい事業関係者のみなさま



各学区の広報グッズ

- (4)「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」《市受託事業》では、コロナ禍においてのサロンの運営など、サロンに関するさまざまな相談の対応をはじめ、新たなサロン開設のための支援や運営助成金の申請支援などを行いました。

また、サロン継続のための支援として、運営者同士の情報交換の場である「サロン☆サロン」(7月・3月)と「研修会」(12月・1月)の開催をはじめ、サロン関連情報を掲載した「サロン通信」を4回発行しました。

こうした取り組みは、「生活支援連絡会」(6月・10月・2月の3回開催)で議論を重ね、「地域包括ケア推進会議」で報告しました。



サロン☆サロン



サロン運営者研修(テーマ:コロナ感染予防)

(5)「高齢者はつらつ長寿推進事業」(はつらつ事業)《市受託事業》は、コロナ禍で多くの期間、中止を余儀なくされる中、参加者の介護予防と見守りのため、音読・体操・脳トレのためのプログラム、自宅で簡単にできる折り紙などを定期的に自宅に郵送し、作成していただいた作品を在宅サービスセンターへ展示するなど、コロナ禍における参加者との交流活動に努めました。



展示された参加者の作品

(6)「寝具クリーニングサービス事業」は、布団を干すことが困難な65歳以上のひとり暮らしの方などを対象に、民生委員のみなさまの協力のもと実施しました。

また、花水木鯨城会などの協力のもと、子育てサロンや保育園などへサンタクロースやトナカイを派遣する「キラキラ☆サンタ事業」を行いました。



子育てサロンでの「キラキラ☆サンタ事業」

(7)「名古屋市いこいの家事業」《市受託事業》は、言葉や心身の発達の遅れなどが気になる子どもとその保護者を対象に、千種児童館などで親子遊びや相談会などを行いながら、保護者の不安・悩み解消と保護者同士の仲間づくりに努めました。

また、令和4年度から8年度までの運営事業者となるための応募申請を行い、次年度からの運営事業者として選定されました。

(8)「福祉関係団体等」への支援として、共同募金配分金を使い、各種福祉活動へ事業助成を行うとともに、区内で活躍するボランティア団体・NPOへ公開プレゼンテーションを行ったうえで事業助成する「ボランティア・NPO応援助成事業」を行い、地域関係者や大学生など8名のみなさまに審査いただき、6団体に助成しました。

3 「ボランティア活動」の推進

(1)「ボランティアセンター」を運営し、ボランティア活動に関する各種相談をはじめ、需給調整、情報提供、部屋貸しなどを行うとともに、広報なごや千種区版の点訳・音訳に関し、各ボランティアグループへ機器貸し出しなどを行いました。

また、千種区ボランティア連絡協議会と連携し、子どもたちの学習支援などを行う「しんぽスクール」を児童館で開催しました。

(2)「福祉教育」については、ボランティア団体と連携し、小学校へ出向き、高齢者擬似体験、アイマスク体験などを行い、子どもたちの福祉に関する理解促進に努めました。

(3)「災害ボランティアちくさネットワーク」や区役所などと連携し、大規模災害時に設置される「災害ボランティアセンター」に関する協議を定期的に行うとともに、3月に災害ボランティアセンターの候補先のひとつである区内大学で設置運営訓練を行いました。

また、区民のみなさまへの啓発活動として、学校や児童館などに出向いての防災講話などを行うとともに、防災週間には、区役所あじさい広場で災害に関するパネル展示を行いました。



防災講話される災害ボランティアさん

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

(1)本会広報誌「はなみずきのまちだより」を3回発行し、推進協活動やボランティア講座の紹介、いきいき支援センターの各種事業等の発信に努めました。

また、広報誌は、町内会・自治会のみなさまの協力のもと、学区の回覧版、各学区のコミュニティセンターをはじめ、区役所、福祉情報配置店などに配架しました。

(2)「ホームページ」は、常にタイムリーな情報掲載の発信に努めるとともに、「Instagram」での情報発信も積極的に行いました。

(3)本会マスコットキャラクター「ユーカーナ」を前面に出し、Instagramへの登場をはじめ、本会が作成する各種冊子・チラシへ区役所マスコットキャラクター「こあらっち」とともに掲載し、PRに努めるとともに、新たなグッズとして、巾着袋を作りました。



新たに作成した巾着袋と従来からのグッズ

(4)「賛助会費」や「赤い羽根共同募金配分金」は、本会が福祉活動を展開していく上で重要な財源であり、コロナ禍の大変厳しい状況の中、町内会・自治会のみなさまや民生委員のみなさまの協力をいただきながら財源の確保に努めました。

賛助会費は、従来どおり、使い道などを掲載した学区ごとのチラシを作成しPRするとともに、赤い羽根共同募金は、愛知造形デザイン専門学校と協働で作成したパンフレット(マンガを用いて使い道などを紹介)を使い、PRに努めました。



募金パンフレット

5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

愛知県社会福祉協議会から業務を受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、離職者等に対し、民生委員のみなさまをはじめ、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター、行政機関などと連携し、資金貸付と援助指導を行うことで、援助世帯の安定した生活基盤の確立を目指す生活福祉資金貸付事業を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大による休業や失業で生活に不安のある方々への緊急小口資金等の特例貸付業務も行いました。

6 「デイサービスセンター」の運営

ご利用される方々とそのご家族の生活の充実を図るため、通所介護事業を行いました。健康チェックをはじめ、入浴、昼食、レクリエーション、口腔ケア機能向上事業などを行いながら、利用者の自立した日常生活の維持・向上に努めました。

また、昼食はボランティアグループ「はなみずき」の協力のもと、愛情たっぷりの手作り料理を提供しました。



調理されるボランティアさん

7 「都福社会館・千種児童館」の管理運営 **指定管理事業**

名古屋市からの指定管理2年目として、管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、両館とも休館や入館人数の制限を余儀なくされた期間もありましたが、休館中においても、名古屋市の指示により、福社会館は、電話相談事業、児童館は、留守家庭児童健全育成事業は、休まず実施しました。

8 「名古屋市社会福祉協議会事業」への協力

名古屋市社会福祉協議会事業である「千種区西部いきいき支援センター」(地域包括支援センター)と「千種区介護保険事業所」と協力、連携しながら、千種区の地域福祉の向上に努めました。

主な事業の内訳 ※() は昨年度実績

1 「第4次地域福祉活動計画」(第4次計画)の推進

チーム名	会議開催回数等	推進委員数
きっかけ	3回(11月、1月)	12人
ひと	2回(11月)	11人
つながり	3回(6月、7月、11月)	17人

※推進委員会全体会は、5月はコロナ禍で中止、11月は開催しました。

2 「地域福祉活動」の推進

事業名	実施日	内訳等		
ふれあい給食サービス事業 【14学区で実施】	通年	・実施回数:会食 10回(2)、配食 69回(41) ・延参加者数:会食 406名(105) 配食 6,322名(3,911)		
地域支えあい事業 【5学区で実施】	通年	学区	区分	実績等
		千代田橋 ※ボランティアポイント 2,619(2,174)	連絡会議	2回(3)
			開設日数	93日(93)
			生活支援	43件(32)
			活動延人数	484人(363)
		自由ヶ丘 ※ボランティアポイント 2,173(1,794)	連絡会議	2回(2)
			開設日数	81日(74)
			生活支援	66件(10)
活動延人数	418人(351)			

		富士見台 ※ボランティアポイント 3,609(1,365)	連絡会議	3回(2)
			開設日数	105日(103)
			生活支援	229件(10)
			活動延人数	2,035人(176)
		春岡 ※ボランティアポイント 155(180)	連絡会議	2回(0)
			開設日数	52日(52)
			生活支援	5件(5)
			活動延人数	17人(19)
		内山 ※ボランティアポイント 176	連絡会議	3回
			開設日数	23日
			生活支援	4件
			活動延人数	53人
高齢者サロンの整備等 生活支援推進事業	通年	サロン設置状況(把握件数) 92箇所(高齢49、共生24、子育て18、障害1) (90)		
サロン相談支援	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 70件(新規:33件、継続37件) (74件 新規48、継続26) ・助成申請 開設助成 3件(0) 運営助成 58件(41) 		
運営者研修とサロン☆サロン	7、12、 1、3月	■研修 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師による感染症対策講座(12/6) 【参加者7名】 ・フレイル予防講座(1/13)【参加者:6人】 ■サロン☆サロン(茶話会) <ul style="list-style-type: none"> ・7/8【参加者8名】、3/29【参加者13名】 ※9月は、コロナ禍で中止 		
生活支援連絡会	6、10、 2月	委員数13人 ※2月は、書面開催		
高齢者はつらつ長寿推進 事業	通年	8会場で前期(4~9月)・後期(10~3月)で開催。 「はつらつだより」を4回発行。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:110回(148) ・延参加人数:1,981人(2,571) 		

寝具クリーニングサービス事業	11月	161人(155人)
キラキラ☆サンタ事業	12月	子育てサロン等 12ヶ所、プレゼント配付数 140個 (10ヶ所、151個)
名古屋市いこいの家事業	通年	千種児童館週2日、守山児童館週1日開催 延参加者数: 1,233人(1,563)
福祉関係団体等の支援 (赤い羽根共同募金財源) ※詳細は、赤い羽根データ ページはねっと(URL http://hanett.akaihane.or.jp/)	通年	・高齢者福祉活動(学区敬老事業、ふれあい給食事業) 【3,678,500円(27件)】 ・障がい児・者活動(手をつなぐ育成会等が行う事業) 【113,000円(3件)】 ・児童・健全育成活動(子ども会活動、保育園事業、学 童保育所の運営)【49,500円(1件)】 ・住民全般福祉活動(推進協事業) 【2,020,881円(16件)】 ※上記のほか、「ボランティア・NPO 応援助成事業」と して、ボランティア団体など6団体へ約25万円助成。

3 「ボランティア活動」の推進

事業名	実施日	内訳等
ボランティアセンターの運営	通年	・ボランティア相談 16件(14) ・ボランティア登録 3,491人(3,389) ・ボランティア活動保険 2,154人(1,975) ・ボランティア行事用保険 12,752人(8,060)
在宅サービスセンターの 利用状況	通年	・研修室 308件、6,714人(230件、5,014人) ・ボランティアルーム 295件、2,537人 (322件、2,766人) ・点訳室 83件、100人(59件、70人) ・録音室 295件、974人(301件、993人) ・調理実習室 37件、851人(32件、736人)
福祉教育	通年	実施校 6校 延参加人数 639人(2校、284人)

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

事業名	実施日	内訳等
広報誌の発行	7、11、 3月	発行総数 24,600部 (21,900)
ホームページとInstagram	通年	ホームページアクセス数 12,662 (13,739) Instagramフォロワー数 3,419(1,530)
賛助会費 ※個人1口 500円 法人・団体1口 5,000円	通年	・個人会員 2,440人、1,818,878円 (2,652人、1,987,500円) ・法人・団体会員 220件、2,553,100円 (187件、2,676,900円) <u>合計 4,371,978円 (4,664,400円)</u>
寄付金	通年	2件、206,931円(16件、1,284,456円)
赤い羽根共同募金	10月～ 12月	・一般募金 9,106,431円(9,803,415円) ・歳末募金 1,037,047円(1,117,700円) <u>合計 10,143,478円 (10,921,115円)</u>

5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

事業名	実施日等	内訳等
生活福祉資金貸付事業	通年	・相談件数 86件(37) ・新規貸付件数 3件 513,000円 (2件 6,526,000円) ・管理件数等 93件 68,319,675円 (92件 64,079,789円)
特例貸付事業	通年	・緊急小口資金(貸付上限額:20万円) 543件 104,810,000円 (1,900件 361,072,000円) ・総合支援資金(貸付上限額:単身月15万円、二人以上月20万円。最大9ヶ月。) 1,090件 560,832,000円 (1,069件 513,926,000円)

6 「デイサービスセンター」の運営

通所介護事業				
介護保険サービス	要介護 5		0 人 (184)	
	“ 4		249 人 (128)	
	“ 3		954 人 (879)	
	“ 2		1,824 人(1,919)	
	“ 1		1,688 人(1,704)	
	要支援 2		825 人 (737)	
	“ 1		199 人 (164)	
介護予防・生活支援サービス	予防専門型通所	事業対象者	98 人(83)	
	ミニデイ型通所	“	0 人 (0)	
			延利用人数	5,837 人(5,798)

7 「都福社会館・千種児童館」の管理運営

(1) 都福社会館

福社会館の管理・運営					
・年間開館日数 135 日 (114)	個人利用		団体利用	合計	
	延 人 数		2,974 人 (1,216)	0 人 (0)	2,974 人 (1,216)
	内 訳	趣味講座等	1,730 人(1,045)		
		交流会等	0 人(0)		
		相 談	10 人(10)		
その他		1,234 人(161)			
認知症予防事業【委託事業】					
事 業 名			延人数		
認知症予防教室 ※3クラス(1クラス定員7名)を半期ごと、週1回実施			368 人(305)		
認知症予防リーダー養成講座 ※全8回のうち、5回(1クール定員5名)の講座を福社会館が担当			25 人(13)		
認知症予防リーダー派遣			派遣 39 人(12) 参加 231 人(49)		

(2)千種児童館

児童館の管理運営			
	内容区分	区分	延人数等
・年間開館日数 293日(292)	館内遊び場利用	幼 児	9,281人(7,156)
		小学生	5,319人(2,970)
中学生		1,308人(753)	
高校生		152人(169)	
その他		9,217人(7,049)	
計		25,277人(18,097)	
・総利用人数 42,411人 (33,028)	団体利用(19団体)	回 数	150回(126)
		延人数	1,574人(1,356)
健全育成事業 (行事、プチイベント)		回 数	1,403回(781)
		延人数	6,420人(4,596)
館外事業 (移動児童館等)		回 数	9回(2)
		延人数	238人(102)
クラブ活動(13クラブ)		開催回数	269回(178)
		延人数	5,218人(4,746)
留守家庭児童クラブ		延登録者数	301人(292)
		延人数	3,333人(3,539)
中学生の学習支援事業			
【委託事業】	区分	登録者数	延人数
	学習サポーター	10人(11)	74人(317)
	利用児童 (ひとり親世帯等の中学生)	3人(12)	142人(390)
高校生の学習継続支援事業等			
【委託事業】	区分	登録者数	延人数
	①高校生の学習継続支援 学習サポーター (中学生の学習支援と兼ねる)	10人(11)	12人(104)
	②家庭訪問型相談支援事業との連携 利用児童 (中学生の学習支援の卒業生)	6人(6)	109人(202)

8 「名古屋市社会福祉協議会」への協力

(1) 千種区西部いきいき支援センター(地域包括支援センター)への協力

事 項	実施日等	主 な 内 容
地域包括ケア 推進会議	6月24日 2月24日	保健・医療・福祉に関わる団体が、地域包括支援ネットワークを構築し、高齢者の支援を進めるための協議を行う。
相談事業	通 年	総合相談・権利擁護 707 件(684) 包括的・継続的マネジメント 262 件(286)
介護予防支援、 介護予防ケアマ ネジメント(要支 援1・2、事業対 象者の介護予防 計画)	通 年	延利用者数 10, 449人(10,495) ・いきいき支援センター作成分 3, 080人(3,136) (要支援 1:913人 要支援 2:1,878人 事業対象者:289人) ・居宅介護支援事業者委託分 7, 369人(7,359) (要支援 1:2,138人 要支援 2:4,916人 事業対象者:315人)
ケアマネサロン	4月16日 6月11日 8月20日 10月15日 12月17日 1月14日 2月18日	ケアマネジメント支援業務の一環として居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にスキルアップとネットワークづくりを目的とした研修会および交流会を企画・実施。 【研修会内容】 ●在宅歯科診療について(4月) ●成年後見制度について(6月) ●ごみ屋敷ケースの対応方法について学ぶ(8月) ●精神障害を抱える方への支援を学ぼう(10月) ●認知症施策について理解を深める(12月) ●主任ケアマネの役割(1月) ●千種区の災害予測や災害時の支援を知り災害に備えよう～地震編～(2月) 参加延人数 229 人(143)
医療講座(医療 と介護の連携)	7月13日 2月24日	職員の資質向上に加え、他の介護関係事業所も交え、医療知識の向上や医師との顔の見える関係づくりを目的に、区内の医師を講師に招き、医療講座を開催。 於 在宅サービスセンター、Zoom 参加延人数 49 人(26)
学区小地域ケア 会議	7月26日 11月15日 1月17日	ケアマネジャー、サービス事業者、関係団体、民生委員・児童委員、一般住民等による「地域包括支援ネットワークの構築」を目指して、小学校区を単位とした「小地域ケア会議」を開催。 高見学区(於 乗西寺) 3 回(2) 参加延人数 28 人(20)
見守り支援事業	通 年	・通 報 件 数 19件(20) ・電話、面接件数 906件(748) ・本人宅訪問延件数 128件(137) ・支援ネットワーク構築件数 14件(26)

介護予防・家族支援事業	年間	「認知症家族教室」10回(上半期5回、下半期5回)開催 於 千種区役所 参加延人数 57人
	年間	「家族サロン」10回開催(5) 於 在宅サービスセンター 参加延人数 80人(27)
	年間	「医師による専門相談」11回開催(7) 於 在宅サービスセンター 参加延人数 20人(8)
	年間	「認知症サポーター養成講座」15回開催(8) 於 在宅サービスセンター-他 参加延人数 198人(112)
認知症初期集中支援チーム	年間	支援対象者 28人(29) 支援状況 ・個別訪問 93回(69) ・本人及び家族との連絡 178回(115) ・来所相談 5回(2) ・関係機関との連絡 270回(175) ・チーム員会議開催 21回(20) ・チーム員会議で検討した延ケース数 119回(95)

(2)千種区介護保険事業所への運営協力

①訪問介護(なごやかヘルプ)事業

区分	延利用者数	派遣回数	延時間数
介護保険サービス(要介護・要支援)	1,180人 (1,202)	13,231回 (14,432)	13,822時間 (15,826)
予防専門型・生活支援型(事業対象者)	1,255人 (1,518)	8,008回 (9,457)	7,559時間 (9,029)
障害福祉サービス	726人 (707)	6,316回 (6,301)	8,491時間 (8,766)
措置等	132人(138)	229回(267)	179時間(263)
	合計	3,293人 (3,565)	27,784回 (30,457)
			30,051時間 (33,884)

②居宅介護支援事業

支援計画(ケアプラン)の作成			
区分	対象者	延人数	
介護保険サービス	要介護5	164人(163)	
	〃 4	273人(288)	
	〃 3	580人(544)	
	〃 2	922人(983)	
	〃 1	920人(780)	
	要支援2	297人(340)	
	〃 1	52人(68)	
介護予防・生活支援サービス	要支援1・2	260人(257)	
	事業対象者(区分未認定)	13人(30)	
要介護認定調査			47人(56)

【法人運営の状況】

事 項	開催日等	内 容
第94回理事会 (みなし決議)	6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ○全理事から同意書、両監事から確認書受領 ・令和2年度事業報告・資金収支決算 ・評議員の一部選任にかかる候補者の決定 ・新評議員候補者の決定 ・新役員候補者の提案 ・顧問の選任 ・役員等賠償責任保険契約の加入 ・第81回議員会みなし決議の開催 ・会長の職務執行状況(令和2年度下半期) ・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる委託契約書
第8回評議員選任・ 解任委員会 (みなし決議)	6月7日	<ul style="list-style-type: none"> ○全委員から同意書受領 ・評議員の一部選任 ・新評議員の選任
第81回評議員会 (みなし決議)	6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○全評議員から同意書受領 ・令和2年度事業報告・資金収支決算 ・新役員の選任
第95回理事会	6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○出席者:理事14名 監事2名 顧問1名 ・会長・副会長の選任 ・総括理事の指名 ・顧問の選任
第96回理事会	12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ○出席者:理事13名 監事2名 顧問1名 ・評議員の一部選任にかかる候補者の決定 ・千種区社会福祉協議会旅費規程の一部改正 ・会長の職務執行状況(令和3年度上半期) ・第4次地域福祉活動計画進行状況
第82回評議員会	12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ○出席者:評議員33名、理事4名(会長、副会長2名、総括理事) 監事2名 顧問1名 ・第4次地域福祉活動計画進行状況
第9回評議員選任・ 解任委員会	1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ○出席者:委員5名 ・評議員の選任
第97回理事会 (みなし決議)	3月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○全理事から同意書、両監事から確認書受領 ・諸規程の一部改正 ・令和4年度事業計画・資金収支予算 ・令和4年度評議員会の招集 ・令和4年度評議員選任・解任委員会の招集 ・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結 ・名古屋市いこいの家事業にかかる契約の締結 ・名古屋市社会福祉協議会・区社会福祉協議会の防災対策にかかる協定の締結

第83回評議員会	3月31日	○全評議員から同意書受領 ・令和4年度事業計画・資金収支予算
----------	-------	-----------------------------------